

七高SSH通信

R3・10・27
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第7号

高校生バイオサミット in 鶴岡

8月23日(月)~25日(水)にオンラインで行われた、第11回高校生バイオサミット in 鶴岡で、成果発表部門で代表発表者の36H 政氏さんと、計画発表部門で発表者の26H 綿谷くんが、個人対象の審査員特別賞を受賞しました。審査員特別賞は2年連続の受賞でした。



おめでとう!



バイオサミットでは、発表前はいつも通りかなり緊張していました。しかし、結果として発表では大きなミスはなく、質疑応答でも完璧とは言えないものの、先生が仰っていた「聞かれたことに答える」ということができたと思います。最後の研究発表を終えてこれまでを振り返った時に、「失敗を次に生かす」ことの大切さを痛感しました。特に発表における話し方については、審査員特別賞を獲得することもできたので、わずかながら成長を感じています。

バイオサミットに参加できて、とても大きな経験になりました。とても多くの人前で、大学の先生や学生の皆さんに向けて発表するのは不慣れでとても緊張しましたが、自分なりに練習の成果を発揮できてとても嬉しく思います。また、他の学校の生徒の皆さんの発表を聞くのもとても楽しかったです。それぞれの発想や工夫を見て、自分のものと比べてより、勉強になり、成長に繋がれたと思います。

バイオサミットは初めての全国規模の発表会だったので、とても緊張しました。指導していただいている先生方の協力のおかげで、発表を成功させて、賞を頂くことができました。発表会では、いろんな興味深いテーマがありました。発表者同士の交流があり、とても楽しかったです。来年は成果発表部門に参加できるように頑張りたいです。

自然科学研究 I (第1学年理科)

「地学実習」(9月24日)

金沢大学理工研究域自然地球社会基盤学系のロバートジェンキンス先生の指導のもと「地学実習」を行いました。残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、金沢大学での実習ではなく、本校に講師の先生を招いての実習でした。



初めに、ロバート先生から「Science illustration」と「金属うんちを持つ熱水エビ」についての講義があまりました。極限生態系の成り立ちや、そこに棲む生き物の不思議な生態について、生徒は興味深く聞いていました。午後からは、用意していただいた金沢市大桑層の化石を同定し、過去の環境を考察する実習をおこないました。



「リモートセンシング」(10月15日)

リモートセンシングとは、物体を直接測定器などの機器によって調査することとは異なり、物に触らずに離れた場所から調査することをいいます。このユニットでは初めにリモートセンシングの基礎(用いる電磁波や人工衛星の基礎知識)を学習した後、「EISEI」というソフトを使って衛星の画像を解析し、自分でテーマを決めて課題研究をおこないます。この日は、石川高専の小村良太郎先生からリモートセンシングの基礎とEISEIの使い方の講義を受けました。次回からは実習がスタートします。

